

大学院 I 期入試英語 模範解答

問題 1

- ① 国の調査によると、企業のおよそ半数が「意思疎通の困難さ」を外国人の雇用における主な課題として挙げている。
- ② ベトナム人従業員のスマートフォンには、業務用グループチャット機能を使っている同僚の日本人やタイ人に送られたベトナム語のメッセージが表示された。
- ③ 受信者のスマートフォン画面には、日本語やタイ語にそれぞれ自動的に翻訳されたメッセージが表示され、円滑なコミュニケーションを促進した。
- ④ 約 10 年前、この会社は技能実習生の受け入れを開始し、それに伴って外国人従業員が増加しました。
- ⑤ 日本人従業員は、言葉の壁が業務や職場のルールに影響を与えないよう、身振りでのコミュニケーションや、やさしい日本語で書かれたメモの配布に頼らざるを得なかった。

問題 2

- ① 虚偽、誤解を招くまたは操作された情報による直接的および間接的なコストは定量化が難しく、汚染された情報がどのように民主主義に影響を与えているかに関連しがちである。
- ② 人を傷つける意図はなく、誤って共有された虚偽の情報は「ミスインフォメーション (misinformation)」と述べるのが適切です。一方で、人を傷つける意図をもって故意に共有された虚偽の情報は「ディスインフォメーション (disinformation)」と呼ばれます。
- ③ 2016 年のアメリカ大統領選挙に先立って、ロシアやケンブリッジ・アナリティカで用いられた個人情報収集の高度な手法は、新規顧客を獲得しようとする企業や、新たな支持者を求める NGO、さらには新しい読者を引きつけようとする報道機関が用いている手法とほとんど同じです。
- ④ BBC は最終的に、自身が虚偽の内容に関わっていないことを示す訂正動画を公開しなければならなかった。